

2026 年度 サントリー文化財団「若手研究者のためのチャレンジ研究助成」 申請要項

公益財団法人サントリー文化財団

1. 助成の趣旨

人文学、社会科学の分野において、学問的な新しい地平を切り拓こうとする、意欲ある若手研究者の支援を目的とする助成です。斬新な発想で取り組む、大きな展望を持った研究であると同時に、学術的、社会的に広がりのある研究を対象とします。専門領域からの飛躍を目指す若手研究者によるチャレンジングな取り組みを応援します。

2. 助成対象

原則として、2027 年 4 月 1 日時点で博士前期(修士)課程修了以上かつ 35 歳以下の若手研究者による人文学、社会科学分野の個人研究を対象とします。

また、助成期間中に開催される中間報告会にて、異分野の研究者と積極的に交流し、学際的視野を広げたいという意欲を持った方からの申請を歓迎します。

3. 助成条件

- (1)申請者の国籍、所属は問いませんが、書類作成、学際的な議論への参加が可能な日本語能力を持つことを条件とします。申請書は、本人作成の日本語によるものだけを受け付けます。
- (2)申請者は過去に本プログラムの助成を受けていない者としてします(当財団の他プログラムは含みません)。
- (3)助成期間中に開催する中間報告会(東京都内で開催予定)にて、研究の進捗をご報告いただきますので必ずご出席ください。
- (4)他機関の助成との併願・同時受給は可能です。
- (5)以下にあてはまる申請は選考の対象外とします。
 - ・ 指定の申請書フォーマットを使用していないものや、申請書フォーマットの内容を改変しているもの、書類不備のもの
 - ・ アンケート等の調査の実施のみを目的とするもの
 - ・ 論文投稿や書籍出版、シンポジウム等の成果発表のみを目的とするもの

4. 助成件数

本年度は 15 件程度を採択予定です。

5. 助成金額

1 件あたり 100 万円を上限として、研究に必要な金額を申請してください。原則として、申請額の満額を支給します。

※助成対象研究の進捗について、中間報告会(東京都内で開催予定)での報告義務を設けていますので、その際の旅費も助成金の使途に含めてください。

6. 助成期間

助成期間は 2027 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までの1年間とします。

※継続申請はできません(一人に対して一度の助成とし、異なるテーマでも不可とします)。

7. 助成金の使途、使用条件

- (1) 申請研究テーマの研究に必要な経費とし、使途は定めません。
- (2) 申請者が所属する組織へ支払う学費(入学金、授業料等)は助成の対象としません。
- (3) 申請者が所属する組織の間接経費、一般管理費等は助成の対象としません。
- (4) 以下に該当すると判断した場合、助成を中止することがありますのであらかじめご了承ください。
 - a) 申請書に虚偽の内容が記載されていたことが判明した場合
 - b) 当財団からの連絡に長期間応答がなく、連絡不能となった場合
 - c) 何らかの理由により、長期間にわたり研究の遂行が不可能となった場合
 - d) 他人の名誉もしくは信用を侵害する行為があった場合
 - e) 他人の知的財産権や肖像権を侵害する行為があった場合
 - f) その他、当財団との信頼関係を著しく損ねる行為があった場合

8. 選考方法

選考は選考委員会において行い、理事会で決定します。

9. 選考基準

本プログラムでは、専門分野のみに留まらない、以下のようなチャレンジングな研究を高く評価します。

- ・学術的、社会的に広がりのある研究
- ・新しい学問的地平を切り拓こうとする意欲の高い研究
- ・斬新な発想で取り組む、大きな展望を持った研究

10. 申請締め切り

2026 年 11 月 4 日(水)23 時 59 分(日本時間)

11. 申請方法

当財団のホームページ内、研究助成ページよりご申請ください。

➤ 研究助成ページ:<https://www.suntory.co.jp/sfnd/research/>

12. 助成の決定

2027 年 3 月を予定しています。

選考結果は、申請時に登録されたメールアドレスにお送りします。

* 採否に関わらず、選考の過程についてのお問合せにはお答えいたしかねますのでご了承ください。

13. 助成金の交付

- (1) 助成金は 2027 年 4 月に全額を交付します。
- (2) 助成金額は「円貨」にて決定し、助成金の振込口座は原則「円口座」とします。

14. 中間報告会

当財団では、助成金による支援だけでなく、多分野の識者が一堂に会する場を提供することにより、新たな気づきを得るきっかけにしていきたいと考えています。

- ・助成対象研究について、2027 年 12 月頃に東京都内にて中間報告会を行う予定です。助成を受けた方から、本プログラム選考委員をはじめとした識者（研究者、報道関係者、編集者）の方々へ研究内容をご報告いただきます。
- ・研究報告を行うことで研究を進展させるとともに、様々な分野の研究者と交流することにより意欲を高め、学際的な視野を広げていただくことを目的に、助成プログラムの一環として行うものです。必ずご出席ください。報告会後には懇親会を行い、参加者の方々と交流いただく時間を設ける予定です。

15. 研究成果の報告

- ・助成期間終了後に、当財団指定のフォーマットにて研究助成報告書（助成期間中の活動報告・研究概要）と研究助成金使途報告書を提出していただきます。研究概要は当財団 Web サイトでの公開、報告集（冊子）への掲載を原則としておりますので、あらかじめご了承ください。なお、報告集は研究成果を広く知らせる目的で、報道・編集関係者に配布します。
- ・助成金を使用した研究成果の発表にあたっては、論文、学会発表、シンポジウム等いずれの場合にも、しるべき箇所にサントリー文化財団の助成を受けた研究である旨を明記してください。

16. 個人情報の取り扱い

助成決定後、当財団 Web サイト、広報リリース、内閣府に提出する書類へ以下の情報を公開します。

- （1）助成対象者の氏名
- （2）助成対象者の所属機関、役職名（申請時）
- （3）研究テーマ

申請フォーム、申請書にご記入いただいた個人情報は、選考及び統計資料作成、選考結果の通知のために使用するもので、個人情報保護法および関連する法令・規範にもとづき、厳重に管理します。上記以外には、ご本人の同意がある場合または正当な理由がある場合を除き、第三者に開示または提供しません。

17. お問い合わせ先

公益財団法人サントリー文化財団「若手研究者のためのチャレンジ研究助成」係

➤ メールアドレス：sfnd@suntory-foundation.or.jp

本文に以下の項目についてご記入の上、電子メールにてお問合せください。

- ①氏名
 - ②申請予定のプログラム名（研究助成「若手研究者のためのチャレンジ研究助成」）
 - ③お問い合わせ内容
 - ④使用している OS
 - ⑤使用しているブラウザ
- ※④、⑤はシステム関係のお問合せの場合のみご記入ください。

申請締切日のお問い合わせは、18時までに受信したメールのみ当日対応します。ご注意ください。

よくあるお問い合わせ

■マイページ登録、フォーム入力について

Q. 過去に研究助成マイページに登録したが、登録時のメールアドレスが失効しており、パスワードも忘れてしまった。

A. 登録時の氏名、メールアドレス、生年月日、新しく登録を希望するメールアドレスを記入の上、問い合わせ先メールアドレスまでご連絡ください。

Q. 申請時と助成期間で所属が変わる予定だが、どちらの所属を記入すべきか？

A. 申請時の所属をご記入ください。

■申請書について

Q. 申請書のフォーマットを開くとレイアウトが崩れるが、どうしたらよいか。

A. お使いのパソコン・文章作成ソフトの設定によっては、申請書・推薦書のフォーマットが崩れる場合があります。その際は、お手数ですが研究助成ページに記載の見本(PDF)を参考に、レイアウトをご自身で修正ください。

Q. 「6.論文紹介」に、「査読中」または「査読後の掲載待ち」の論文を記載してよいか？

A. 原則として、刊行済みの論文について紹介いただきたいと考えております。ただし、「最も自信のある論文」が「査読中」または「査読後の掲載待ち」の場合には、その論文について記載いただいても構いません。申請書の「掲載状況」で当てはまるものを選び、「掲載時期」には、掲載予定時期をご記入ください。

Q. 「6.論文紹介」に、修士論文・博士論文について記載してもよいか？

A. 問題ありません。「掲載時期」には、修士論文・博士論文の学位授与日(年月までの記入で構いません)、「掲載媒体」には提出先の大学名および学科・研究科名をお書きください。「掲載状況」は「学位請求論文」から当てはまるものを選択してください。

■推薦書について

Q. 推薦者から直接財団へ推薦書を提出することは可能か？

A. 原則として推薦書は、申請者本人が申請フォームより提出することをお願いしておりますが、推薦者の意向により直接提出を希望される場合には、申請者本人より、申請者氏名・申請プログラム名・推薦者氏名・推薦者メールアドレスを明記の上、推薦者からの直接提出を希望する旨を、問い合わせ先メールアドレスまでご連絡ください。

申請フォーム・申請書記入上の注意事項

下記の注意事項とマイページ内に記載の申請手順をご確認の上、申請をお願いいたします。

STEP. 1 マイページ登録(既にマイページをお持ちの方は、STEP.2 へお進みください)

申請手順ページの STEP.1 に沿って、申請用のマイページを取得してください。

➤ 申請手順ページ https://grants.suntory-foundation.or.jp/login/about_app.html

※所属について

- ・所属無しの場合は「なし」を選択もしくは入力してください。
- ・日本学術振興会特別研究員の方は、受入研究機関を所属機関として入力し、「職名または学年」の欄には「日本学術振興会特別研究員」と入力してください。(DC1、DC2 の場合は学年も合わせてご記入ください)

STEP. 2 マイページへのログイン

取得した ID とパスワードを使用して、マイページにログインしてください。

※ 過去にマイページを取得された方で、所属情報等に変更のある方はマイページ内の「基本情報の確認・変更」より修正をお願いいたします。

➤ マイページ <https://grants.suntory-foundation.or.jp/login/>

STEP. 3 申請フォームへの入力と必要書類の提出

マイページ内の「Information」もしくは「助成申請受付」から、「若手研究者のためのチャレンジ研究助成」を選択し、フォームに必要事項を入力し、申請書・推薦書のアップロードを行ってください。

● 申請書・推薦書のダウンロード方法

- ・申請書・推薦書のフォーマット(word ファイル)は、当財団の研究助成ページよりダウンロードしてください。
 - 研究助成ページ <https://www.suntory.co.jp/sfnd/research/>
- ・申請書・推薦書の作成は当財団指定のフォーマットを用いて行ってください。
- ・申請書は 4 ページ、推薦書は 1 ページの合計 5 ページです。

● 申請書記入上の注意

- ・必要事項を申請書に漏れなく記入してください。
- ・フォントサイズは 10.5pt 以上 を使用してください。
- ・申請書フォーマットの内容を改変しているもの(記入欄の枠線や欄外の注意書きを削除したもの、フォントサイズが 10.5pt 未満のもの)は、書類不備とみなし選考対象外とします。
- ・申請書内容の補足を目的とした Web サイトへ誘導する URL の記載は禁止です。記載があった場合、選考対象外とします。
- ・申請書(word)のレイアウトが崩れる場合は、研究助成ページに掲載の見本(pdf)を参考に、ページ数の変わらない範囲でレイアウトをご修正ください。

- ・各ページ内に収まる範囲であれば、項目の記入枠の大きさの調整は可とします。
例 1> 申請書 1 ページ目の「1. 研究の内容」の記入枠を小さくし、「2. チャレンジ PR」の記入枠を大きくする→可
- 例 2> 申請書 2 ページ目の「4. 略歴」の記入枠を大きくしたところ、「5. 主な業績」を記入するスペースがなくなったので、3 ページ目に「5. 主な業績」の記入枠を移動する
→不可(申請書フォーマットの改変とみなし、選考の対象外となります)
- ・申請書はすべて日本語でご記入ください。ただし、外国語で発表した論文・書籍のタイトル、海外で行われた学会名等は外国語表記を可とします。
- ・申請書「6. 論文紹介」のみ、モノクロ図表の挿入を可とします。

● 推薦書記入上の注意

- ・申請に際しては、必ずしめるべき第三者からの日本語もしくは英語の推薦書をご提出ください。
- ・指定のフォーマットからページ数の変更があった場合、選考の対象外となりますのでご注意ください。
- ・推薦者の意向で指定のフォーマットを利用しない場合は、必ず A4 サイズ 1 枚(A4 用紙がない場合は、類似サイズの内紙)におさめてください。
- ・人物評価ではなく、本申請テーマがその分野でどのような価値のある研究か、どういった点がチャレンジングか等、研究に対する評価を記述いただくようご依頼ください。
- ・推薦書の内容について、推薦者のメールアドレス宛に事務局より問い合わせることがあります。あらかじめご了承ください。

● 申請フォーム内の「費用明細」の記入について

- ・【費目例】を参照の上、内容(80 文字、4 行以内)と金額を「明細」欄にご記入ください。
- ・「金額」欄の数字は、小数点以下を切り捨てて半角で入力してください。
- ・中間報告会(東京都内)への出席にかかる旅費を「旅費」欄にご記入ください。
- ・申請研究テーマの研究遂行にあたり、所属機関の研究費や他機関からの助成、自己資金の使用を予定する場合は、「他資金」欄に金額をご記入ください。
(※研究規模の把握が目的です。選考には直接関係ありません)

【費目例】

会議費	会議会場の使用料、速記・翻訳代、茶菓代など
謝金	講師、インタビュー対象者等への謝金
飲食費	レセプション、懇親会などの飲食費(酒類を含む)
旅費	会議出席・調査のための交通費・宿泊費 <u>中間報告会出席のための交通費・宿泊費</u>
資料費・ 印刷費・複写費	研究に必要な図書・論文等の購入費 資料・調査票などの印刷・複写費、研究成果発表の印刷費
その他	上記以外で、研究に不可欠のものがあれば具体的にご記入ください。

【記入例】

費目	明細	金額	他資金
会議費	インタビューのための会場費 5 千円×10 回	5 万円	
謝金	インタビュー対象者謝金 1 万円×10 名	10 万円	
飲食費	研究会後の懇親会費 5 千円×10 回	5 万円	
旅費	アメリカ調査費(往復航空券、滞在費)45 万円 中間報告会参加にかかる費用(東京-大阪、1 泊)4 万円	49 万円	20 万円
資料費・ 印刷費・複写費	書籍購入代 5 万円、資料複写費 5 万円	10 万円	10 万円
その他	PC 購入代 20 万円、通信費(郵便)1万円	21 万円	
合計		100 万円	30 万円

本プログラムへの申請金額
(上限100万円)

● 申請書・推薦書のアップロード

- ・ 記入が完了した word ファイルを PDF に変換し、ファイルアップロード欄よりご提出ください。
※申請書の各項目の記入枠がページ内に収まっているか、アップロード前にご確認ください。
- ・ 該当のファイルを選択してから「提出書類一括アップロード」ボタンを押してください。
- ・ ウイルスチェック後、「戻る」をクリックし、提出状況が「提出済み」となっていれば、正常にアップロードが完了しています。(この段階では申請は完了していません)

STEP.4 データ送信

- ・ 全ての必要事項を入力し、申請書・推薦書のアップロードができましたら、「申請する」ボタンを押して申請内容を確認してください。申請内容に問題がなければ再度ページ下部の「申請する」ボタンを押して申請を完了してください。申請完了後に、記入内容を修正することはできませんので、送信前に必ず内容をご確認ください。
- ・ 申請が完了しましたら、登録されたメールアドレスに受付確認のメールが届きます。このメールが申請完了の証明となりますので、選考結果の通知まで保管してください。メールが届かない場合は必ず事務局までお問合せください。

その他

- ・ 電子メール、郵送、FAX、ご持参による申請は受け付けていません。
- ・ 送信した申請書・推薦書のデータは、選考結果の通知までご自身で保管をお願いいたします。
- ・ 申請締め切りの直前は、アクセスが集中し送信できない可能性があります。余裕をもってご申請ください。

以 上

(参考)「若手研究者のためのチャレンジ研究助成」過去の採択例

過去の採択研究テーマの成果報告は、サントリー文化財団 Web サイトにて御覧いただけます。

➤ <https://www.suntory.co.jp/sfnd/research/list.html>

研究テーマ	申請者	申請時の肩書	助成年度
18 世紀後半ウィーンにおける劇場活動の社会経済史的 分析	大塩 量平	早稲田大学大学院経済学研 究科 博士後期課程	2012
選挙はいかにして独裁者に資する制度となるのか？ —権威主義体制の選挙の理論とその実証研究	東島 雅昌	ミシガン州立大学政治学部 博士課程	2012
近代東トルキスタンのムスリム知識人の地理的世界 認識と自然環境	海野 典子	東京大学大学院総合文化研 究科 博士課程	2015
18 世紀および 19 世紀初頭フランスにおける味覚の探 究—グリモ・ド・ラ・レニエール的美食言説を中心として —	齋藤 由佳	トゥール大学大学院人間社会 科学部 博士課程	2017
美的魅力を処理する神経メカニズムの脳磁計を用い た検討	保子 英之	大阪市立大学(現 大阪公立 大学)大学院医学研究科 研 究生	2019
言語をめぐる欧州の多国間政治 ヨーロッパ的言語 観の形成史	貞包 和寛	東海大学文化社会学部 非 常勤講師	2020
医師数の地域間格差の歴史経済分析 —戦前日本の医師名簿を活用した実証研究—	奥山 陽子	ウプサラ大学経済学部 助教 授	2021
物理的領域の正しい解釈から得られる哲学的世界像	藤田 翔	日本学術振興会 特別研究員 PD(受入機関:名古屋大学大 学院情報学研究科)	2021
植民地体制下のサハラにおける領域支配の実践と社 会変容—アルジェリア・サハラの事例から	天野 佑紀	京都大学大学院文学研究科 博士後期課程	2022
日本古代・中世における流刑の本質および社会的機 能に関する研究	重村 つき	東海大学大学院文学研究科 博士課程前期	2023
明治・大正期の関西地方における電気軌道と都市空 間開発に関する研究	岩本 一将	京都工芸繊維大学デザイン・ 建築学系 助教	2024

(助成年度順、敬称略、肩書および研究テーマは申請時)